

# 事業・職員紹介 『清流の国ぎふ』づくり～魅力の創造・発信～ 1

## 行政



**森田 良紀**  
清流の国づくり政策課

- 平成 17 年 採用 東濃県税事務所
- 平成 20 年 森林整備課
- 平成 23 年 ぎふ清流国体推進局
- 平成 24 年 子ども家庭課
- 平成 27 年 全国育樹祭推進事務局
- 平成 27 年 文化振興課
- 平成 29 年 文化創造課
- 平成 31 年 現所属

SDGsを原動力に持続可能な「清流の国ぎふ」を実現！

岐阜県では、地方創生の推進そのものがSDGsの達成に向けたプロセスであるとの考えのもと、「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」に、SDGsを推進する旨を明記し、その達成に向けて各種施策に取り組んでいます。

私は、関係部局と連携し、地方創生やSDGsの推進に向けた企画調整に携わっています。

岐阜県は、令和2年7月に「SDGs未来都市」に認定されました。

持続可能なまちづくりを進めるにあたっては、SDGsの達成に向けた取り組みが、幅広い分野や地域で展開されることが重要です。

まずは、多くの方にSDGsを知っていただけるよう普及啓発するとともに、県内の企業や団体など多様な主体が連携し、地域課題の解決に取り組むなど、持続可能な「清流の国ぎふ」の実現に向けて、自律的好循環が生まれるよう取り組んでいます。

地域の魅力や活力を高め、安全・安心で、持続可能な「清流の国ぎふ」を実現します。



## 森林科学



**鈴木 知之**  
森林文化アカデミー  
森林総合教育センター(morinos)

- 平成 16 年 採用 飛騨農林事務所
- 平成 19 年 林政課
- 平成 24 年 総合政策課
- 平成 26 年 県産材流通課
- 平成 27 年 林政課
- 平成 30 年 現所属

岐阜県の森の楽しさ満載「morinos」がオープン!!

岐阜県では、地域資源を活かした活力ある未来を担う人材を育成するため「ぎふ木育30年ビジョン」を策定し取り組んでいます。

令和2年には県立森林文化アカデミーに「すべての人と森をつなぎ森と暮らす楽しさと森林文化の豊かさを次の世代に伝えていく」ことをコンセプトとし、ぎふ木育の拠点となる森林総合教育センター(morinos)がオープンしました。

morinosでは、森林について、県民の皆様を知ってほしいのはもちろんですが、何よりも森を「楽しむ」ことを大切にしています。子どもから大人までいろいろな方が楽しめるよう、様々な体験プログラムを実施するとともに、小学校などと連携して森の中で授業を行ったり、ぎふ木育の指導者を育成することで、県内の各地域で日常的に森に触れる機会を増やすことにも挑戦しています。

多くの方の協力とともに新しいチャレンジに関わっていることを誇りに思っています。

今だからこそ大切にしたい森の楽しさや文化が感じられる施設を目指します。



## 畜産



**浅野 琢満**  
畜産振興課

- 平成 23 年 岐阜家畜保健衛生所 (現中央家畜保健衛生所) (臨時職員)
- 平成 24 年 採用 畜産課 (現畜産振興課)
- 平成 26 年 畜産研究所
- 平成 31 年 現所属

美味しい牛肉の供給と飛騨牛生産の発展を！

岐阜県では、清らかな水、標高差から生まれる気候の違いを活かして、様々な農産物、畜産物等が生産され、県民の食を支えています。

私は、主に「飛騨牛の改良」に関する業務に携わっています。

県内で交配されるほとんどの父牛が岐阜県畜産研究所で飼養されています。飛騨牛の「肉量」「肉質」「生産効率」を向上させるためには、飛騨牛を生産する父牛と生産者が飼養する母牛の改良が不可欠です。

このため、県内生産者および私も関係者が一致団結し、改良の方向性を決定し、父牛候補の調査、選抜や母牛となる優良な雌の保留支援等を行っています。

優良な父牛、母牛を確保し多くの飛騨牛が生産されることで、「県内生産者の収益性の向上」と「県民への美味しい牛肉の供給」が進みます。

飛騨牛に携わる生産者および関係者は非常に熱意があり、その熱意に応えることに、とてもやりがいを感じています。

県内消費者、生産者、関係業界の皆様が飛騨牛に魅力を感じるよう頑張ります。

